



平成30年度 全日本剣道道場連盟 会員活動状況アンケート集計結果

報 告：全日本剣道道場連盟

実 施：平成30年9月

加盟数：2249道場

回答数：1173道場（52.2%）

調査票サンプル

調 査 票

2018 (H30) 8月 2,249加盟道場に送付 / 1,173道場より回答有 (52.2%)

《所属都道府県》/《県コード》-《道連シリアル》・《団体名》

1. 会員数の現状について、下記の表に人数をご記入ください。(指導者含む)(概数で結構です)

	幼児	小学生	中学生	高校生	一般(指導者含む)	合計
男子	名	名	名	名	名	名
女子	名	名	名	名	名	名
計	名	名	名	名	名	名

2. 指導者について、下記の表に人数をご記入ください。

	指導者数	平日指導する指導者	試合・錬成会等を引率する指導者
20～30歳代	名	名	名
40～50歳代	名	名	名
60歳以上	名	名	名
合計	名	名	名

3. 稽古日・稽古時間帯について、稽古を行っている曜日を()内に記入いただき(時間帯が同じであれば複数曜日記入)、各曜日の稽古対象者別のマスに、稽古を行っている時間帯をご記入ください。(低学年・高学年の仕切りは、道場毎の区分けで結構です。)

曜日	()曜日	()曜日	()曜日	()曜日	()曜日
初心者	～	～	～	～	～
低学年	～	～	～	～	～
高学年	～	～	～	～	～
中学生	～	～	～	～	～
一般	～	～	～	～	～

4. 稽古場所について、当てはまる番号を○で囲んでください。(※複数回答可)

番号	内容	番号	内容
1	私設道場(個人道場)	4	公共の地区センター等
2	警察署・刑務所の剣道場	5	その他()
3	小中学校の体育館・格技場		

5. 大会や錬成会の参加状況について、()内に数字をご記入ください。

年間参加回数	うち所属都道府県内	うち所属都道府県外
()回程度	()回程度	()回程度

《所属都道府県》/《県コード》-《道連シリアル》・《団体名》

6. 貴道場の現在の課題や懸案事項について、当てはまる番号を○で囲んでください。(※複数回答可)

番号	内容	番号	内容
1	道場生の減少	7	駐車場の確保
2	道場生募集活動	8	近隣との関係(騒音問題等)
3	指導者不足	9	道場の保守・メンテナンス
4	指導者の高齢化	10	保護者との関係
5	後継者問題	11	ホームページ等の作成ノウハウ
6	稽古場所の確保	12	その他()

7. 道場生の募集活動について、効果があつたと思われるものに○印を、効果がなかったと思われるものに×印 又、まあまあ効果があつたと思われる場合は△印を記入してください。(※複数回答可)

番号	内容	印	番号	内容	印
1	ホームページ		5	電話帳への掲載	
2	ポスター掲示		6	体験会の開催	
3	ビラ配り		7	その他()	
4	クチ込み		8	その他()	

8. 募集ポスターについてお伺いします。当てはまるほうに○、掲示した場合、場所をご記入ください。

	自作ポスター	全剣連のポスター	全道連のポスター
掲示した事	ある・ない	ある・ない	ある・ない
掲示した場合の場所			
効果について	あつた・ない	あつた・ない	あつた・ない

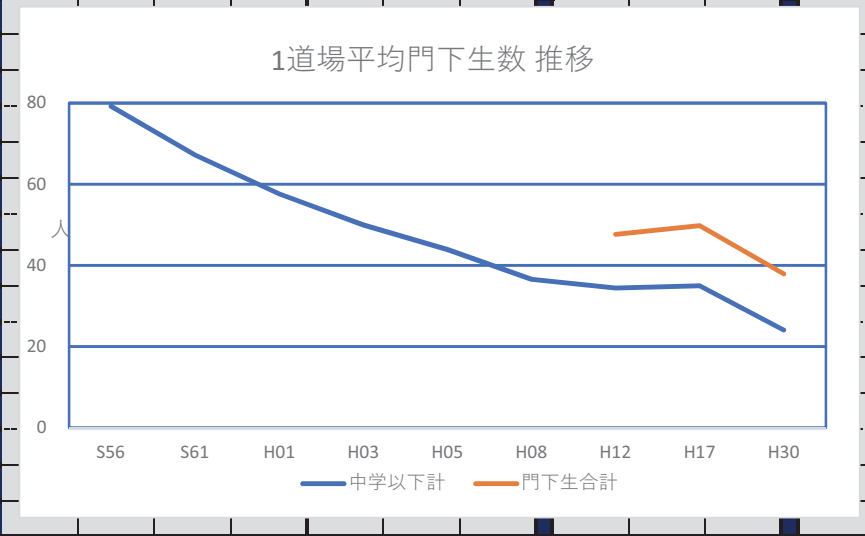
9. 通常の稽古、大会、審査会等参加以外の活動について、行っている活動の番号を○で囲んでください。(※複数回答可)

番号	内容	番号	内容
1	合宿	5	学習の面倒(道場生の宿題、学習の面倒)
2	道場内大会の開催	6	保護者との懇親会(新年会・忘年会)
3	クリスマス会・豆まき等の季節の行事	7	地域への貢献活動(地域清掃等)
4	卒業を祝う会	8	その他()

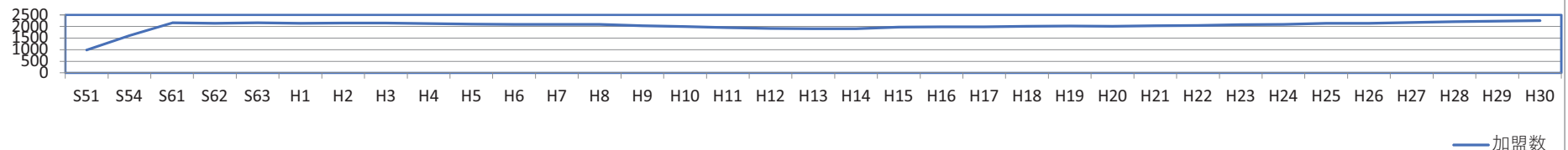
10. その他 本連盟へのご意見 要望事項など、ございましたらお書きください。

全道連 加盟道場 門下生数調査 推移

				回答率	小学生(男)	小学生(女)	中学生(男)	中学生(女)	中学以下男	中学以下女	中学以下計	高校生(男)	高校生(女)	一般(男)	一般(女)	高校以上男	高校以上女	高校以上計	男合計	女合計	男女合計	指導者数
2018	H30	調査年	2018.9/1	52.2%	12,572	5,167	6,300	2,979	19,653	8,603	28,256	1,616	799	11,337	2,437	12,953	3,236	16,189	32,606	11,839	44,445	8,893
		回答数	1,173	回答道場平均	10.7	4.4	5.4	2.5	16.8	7.3	24.1	1.4	0.7	9.7	2.1	11.0	2.8	13.8	27.8	10.1	37.9	7.6
		加盟数計	2,249	推測合計	24,104	9,907	12,079	5,712	37,681	16,495	54,175	3,098	1,532	21,736	4,672	24,835	6,204	31,039	62,516	22,699	85,215	17,051
2005	H17	調査年	2005.04	64.4%	21,280	7,089	10,648	3,935	33,124	11,427	44,551	2,866	1,066	11,741	3,171	14,607	4,237	18,844	47,731	15,664	63,395	6,392
		回答数	1,273	回答道場平均	16.7	5.6	8.4	3.1	26.0	9.0	35.0	2.3	0.8	9.2	2.5	11.5	3.3	14.8	37.5	12.3	49.8	5.0
		加盟数計	1,976	推測合計	33,032	11,004	16,528	6,108	51,416	17,737	69,154	4,449	1,655	18,225	4,922	22,674	6,577	29,250	74,090	24,314	98,404	9,922
2004	H16	調査年	2004.1	59.0%	17,254	5,828	8,180	3,069	26,538	9,274	35,812	2,238	820	8,843	2,425	11,081	3,245	14,326	37,619	12,519	50,138	5,378
		回答数	1,167	回答道場平均	14.8	5.0	7.0	2.6	22.7	7.9	30.7	1.9	0.7	7.6	2.1	9.5	2.8	12.3	32.2	10.7	43.0	4.6
		加盟数計	1,979	推測合計	29,259	9,883	13,872	5,204	45,003	15,727	60,730	3,795	1,391	14,996	4,112	18,791	5,503	24,294	63,794	21,230	85,024	9,120
2000	H12	調査年	2000.06	61.3%	19,452	6,177	9,283	3,677	29,939	10,314	40,253	2,455	890	9,527	2,636	11,982	3,526	15,508	41,921	13,840	55,761	5,175
		回答数	1,171	回答道場平均	16.6	5.3	7.9	3.1	25.6	8.8	34.4	2.1	0.8	8.1	2.3	10.2	3.0	13.2	35.8	11.8	47.6	4.4
		加盟数計	1,911	推測合計	31,744	10,080	15,149	6,001	48,859	16,832	65,690	4,006	1,452	15,547	4,302	19,554	5,754	25,308	68,412	22,586	90,999	8,445
1996	H08	調査年	1996.06	19.0%	7,729	2,218	3,394	1,148	11,123	3,366	14,489											
		回答数	396	回答道場平均	19.5	5.6	8.6	2.9	28.1	8.5	36.6											
		加盟数計	2,079	推測合計	40,577	11,645	17,819	6,027	58,396	17,672	76,067											
H 8 年に過去の門下生数を照会依頼した	H05	照会年度	1993年	19.0%	9,882	2,432	3,914	1,151	13,796	3,583	17,379											
		回答数	396	回答道場平均	25.0	6.1	9.9	2.9	34.8	9.0	43.9											
		加盟数計	2,079	推測合計	51,881	12,768	20,549	6,043	72,429	18,811	91,240											
	H03	照会年度	1991年	19.0%	11,415	2,563	4,549	1,266	15,964	3,829	19,793											
		回答数	396	回答道場平均	28.8	6.5	11.5	3.2	40.3	9.7	50.0											
		加盟数計	2,079	推測合計	59,929	13,456	23,882	6,647	83,811	20,102	103,913											
	H01	照会年度	1989年	19.0%	13,771	2,881	4,821	1,330	18,592	4,211	22,803											
		回答数	396	回答道場平均	34.8	7.3	12.2	3.4	46.9	10.6	57.6											
		加盟数計	2,079	推測合計	72,298	15,125	25,310	6,983	97,608	22,108	119,716											
	S61	照会年度	1986年	19.0%	16,973	3,113	5,182	1,356	22,155	4,469	26,624											
		回答数	396	回答道場平均	42.9	7.9	13.1	3.4	55.9	11.3	67.2											
		加盟数計	2,079	推測合計	89,108	16,343	27,206	7,119	116,314	23,462	139,776											
	S56	照会年度	1981年	19.0%	21,328	3,330	5,335	1,377	26,663	4,707	31,370											
		回答数	396	回答道場平均	53.9	8.4	13.5	3.5	67.3	11.9	79.2											
		加盟数計	2,079	推測合計	111,972	17,483	28,009	7,229	139,981	24,712	164,693											



加盟数推移

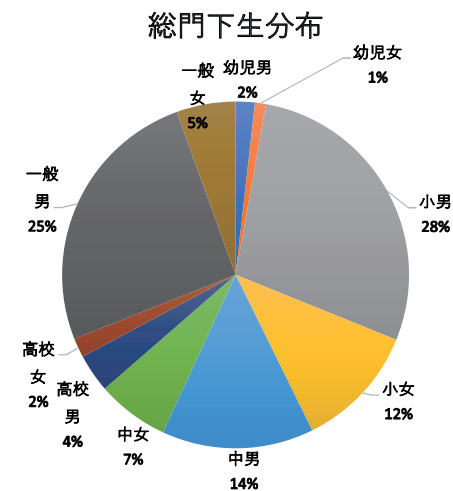
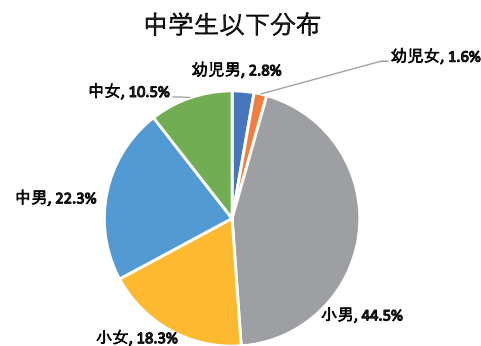


2018(H30) アンケート 門下生数について

地区	加盟数	2018アンケート		中学生以下 門下生数									高校生以上 門下生数						門下生数計			
	2018/8/27	回答	%	幼児男	幼児女	小男	小女	中男	中女	中学以下男	中学以下女	中学以下計	高校男	高校女	一般男	一般女	高校以上男	高校以上女	高校以上計	門下生男計	門下生女計	門下生合計
北海道・東北	441	215	48.8%	98	83	1,692	700	1,098	575	2,888	1,358	4,246	95	54	1,371	298	1,466	352	1,818	4,354	1,710	6,064
関東・東京	621	345	55.6%	292	128	4,296	1,566	2,087	967	6,675	2,661	9,336	882	414	5,262	1,198	6,144	1,612	7,756	12,819	4,273	17,092
中部	294	144	49.0%	60	37	1,537	611	890	474	2,487	1,122	3,609	189	103	1,241	242	1,430	345	1,775	3,917	1,467	5,384
近畿	223	145	65.0%	120	83	1,814	711	800	328	2,734	1,122	3,856	201	97	1,641	383	1,842	480	2,322	4,576	1,602	6,178
中国・四国	270	133	49.3%	92	65	1,194	592	553	247	1,839	904	2,743	149	80	846	152	995	232	1,227	2,834	1,136	3,970
九州	400	191	47.8%	119	61	2,039	987	872	388	3,030	1,436	4,466	100	51	976	164	1,076	215	1,291	4,106	1,651	5,757
合計	2,249	1,173	52.2%	781	457	12,572	5,167	6,300	2,979	19,653	8,603	28,256	1,616	799	11,337	2,437	12,953	3,236	16,189	32,606	11,839	44,445
総集計		平均 / 人		0.7	0.4	10.7	4.4	5.4	2.5	16.8	7.3	24.1	1.4	0.7	9.7	2.1	11.0	2.8	13.8	27.8	10.1	37.9
		推測合計 / 人		1,497	876	24,104	9,907	12,079	5,712	37,681	16,495	54,175	3,098	1,532	21,736	4,672	24,835	6,204	31,039	62,516	22,699	85,215
		構成率		1.8%	1.0%	28.3%	11.6%	14.2%	6.7%	44.2%	19.4%	63.6%	3.6%	1.8%	25.5%	5.5%	29.1%	7.3%	36.4%	73.4%	26.6%	100.0%

中学生以下門下生・道場数		
0人～10人	175	73.7%
11人～15人	165	
16人～20人	193	
21人～25人	175	
26人～30人	150	
31人～35人	103	8.8%
36人～40人	67	5.8%
41人～45人	51	4.4%
46人～50人	34	2.9%
51人以上	51	4.4%
有効回答数	1,164	100%

- 中学生以下門下生 1道場平均24.1人 最多200人・158人・108人等
- 中学生以下0人回答 5 道場
- 女性 全体 26.6%・中学生以下女性 30.5%(男性対比)



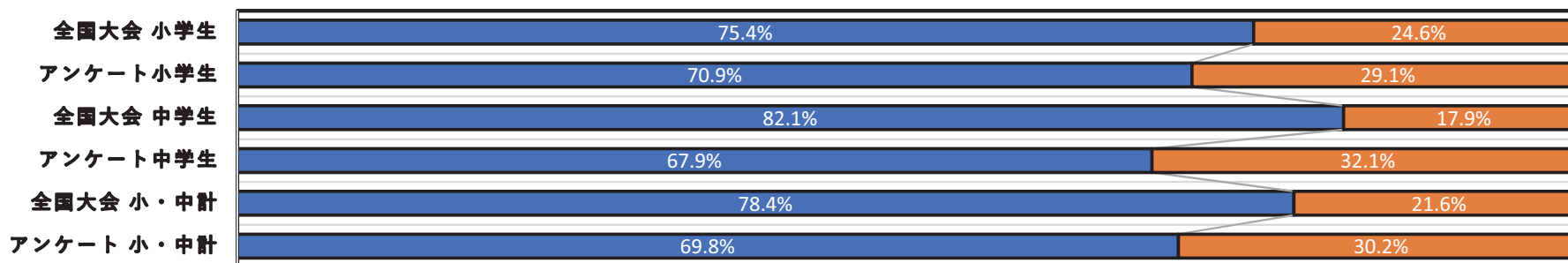
参考資料：

全国道場少年剣道大会(全国大会)における 女子選手の割合

西暦	回数	小学団体数 (チーム数)	×5 小学選手数	小学女子	%女子	中学団体数 (チーム数)	×5 中学選手数	中学女子	%女子	出場チーム計	×5 総選手数	総女子数	%女子
2018	53回	560	2,800	688	24.6%	440	2,200	397	18.0%	1,000	5,000	1,085	21.7%
2017	52回	551	2,755	730	26.5%	428	2,140	399	18.6%	979	4,895	1,129	23.1%
2016	51回	537	2,685	707	26.3%	454	2,270	421	18.5%	991	4,955	1,128	22.8%
2015	50回	540	2,700	648	24.0%	411	2,055	372	18.1%	951	4,755	1,020	21.5%
2014	49回	535	2,675	659	24.6%	416	2,080	351	16.9%	951	4,755	1,010	21.2%
2013	48回	530	2,650	676	25.5%	417	2,085	374	17.9%	947	4,735	1,050	22.2%
2012	47回	540	2,700	623	23.1%	479	2,395	432	18.0%	1,019	5,095	1,055	20.7%
2011	46回	533	2,665	629	23.6%	473	2,365	452	19.1%	1,006	5,030	1,081	21.5%
2010	45回	539	2,695	615	22.8%	466	2,330	365	15.7%	1,005	5,025	980	19.5%
平均		小学女子選手 構成率			24.6%	中学女子選手 構成率			17.9%	女子選手 構成率			21.6%

■男子 ■女子

女子の割合 / 全国大会との比較



※ 全国大会に出場する女子選手の割合は、アンケートの集計結果の割合よりも減少する傾向が見て取れる。

全道連 加盟道場数 推移 他

年度			S51	S54	S56	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
西暦			1976	1979	1981	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
加盟道場数			987	1,600		2,151	2,129	2,152	2,130	2,145	2,147	2,121	2,099	2,083	2,080	2,079	2,029	1,988	1,969	1,911
ワッペン登録数																20,471	19,151	18,794	19,885	19,641
アンケート	回答道場 平均/人	中学以下男			67.3	55.9			46.9		40.3		34.8			28.1				25.6
		中学以下女			11.9	11.3			10.6		9.7		9.0			8.5				8.8
		中学以下 計			79.2	67.2			57.5		50.0		43.9			36.6				34.4
		門下生男 計																		35.8
		門下生女 計																		11.8
		門下生計																		47.6

年度			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西暦			2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
加盟道場数			1,894	1,896	1,967	1,979	1,976	2,004	2,019	2,008	2,025	2,033	2,073	2,083	2,134	2,133	2,164	2,200	2,224	2,249
ワッペン登録数			20,493	21,991	29,438	30,106	30,853	31,827	31,604	31,679	31,430	30,789	31,821	33,522	34,064	34,430	36,381	36,950	38,032	38,589
アンケート	回答道場 平均/人	中学以下男				22.7	26.0													16.8
		中学以下女				7.9	9.0													7.3
		中学以下 計				30.6	35.0													24.1
		門下生男 計				32.2	37.5													27.8
		門下生女 計				10.7	12.3													10.1
		門下生計				42.9	49.8													37.9

2018.9/1

※ 加盟道場数は調査集計時点。
 ※ ワッペンの登録数は、H15年度より現行の傷害保険付制度。
 ※ アンケートの門下生数は回答道場の平均値。

2018(H30) 指導者数・施設・大会参加数・稽古回数について

地区	加盟数	2018アンケート		指導者について			
	2018/8/27	回答	%	30歳以下	40/50歳代	60歳以上	指導者計
北海道・東北	441	215	48.8%	386	650	324	1,360
関東・東京	621	345	55.6%	758	1,579	949	3,286
中部	294	144	49.0%	260	525	202	987
近畿	223	145	65.0%	273	668	341	1,282
中国・四国	270	133	49.3%	209	439	205	853
九州	400	191	47.8%	332	521	272	1,125
合計	2,249	1,173	52.2%	2,218	4,382	2,293	8,893
総集計		平均 / 人		1.9	3.7	2.0	7.6
		推測合計 / 人		4,253	8,402	4,396	17,051
		構成率		24.9%	49.3%	25.8%	100.0%

指導者について

- 道場内で「指導者」と位置づけられる人 平均7.6人
- 30歳以下や60歳以上より40～50歳代が多い

地区	稽古場の施設について				
	私設	警察 刑務所	学校	公営	他
北海道・東北	29	10	126	76	25
関東・東京	88	37	194	69	25
中部	19	7	89	29	18
近畿	13	23	105	36	13
中国・四国	17	10	96	24	10
九州	26	16	107	50	20
合計	192	103	717	284	111
割合	16.4%	8.8%	61.1%	24.2%	9.5%
推測合計	368	197	1,375	545	213
RANK	3位	5位	1位	2位	4位

施設について

- 学校利用が最多、次 公営施設の順
- 私設道場 16%
- その他、企業・神社の道場等

地区	大会・錬成会 / 年		
	参加計	県内	県外
北海道・東北	18.0	13.7	4.3
関東・東京	19.7	13.0	6.8
中部	16.2	10.8	5.4
近畿	20.7	12.6	8.1
中国・四国	19.4	14.4	5.0
九州	25.0	18.7	6.3
合計			
平均 / 回	20.0	13.9	6.1

大会・錬成会の参加について

- 年間平均20回参加(県内14・県外6)
- 最高100回・80回や60回も有。
- 九州地区・近畿地区の数値 多。

地区	加盟数	2018アンケート		月稽古	火稽古	水稽古	木稽古	金稽古	土稽古	日稽古	週間稽古日数 / 道場		
	2018/8/27	回答	%	月稽古	火稽古	水稽古	木稽古	金稽古	土稽古	日稽古	平均稽古回数	7日	25
北海道・東北	441	215	48.8%	107	124	127	108	115	118	33	3.4	6日	32
関東・東京	621	345	55.6%	132	145	181	141	139	234	107	3.1	5日	117
中部	294	144	49.0%	68	64	62	77	71	82	22	3.1	4日	221
近畿	223	145	65.0%	55	60	70	64	45	107	65	3.2	3日	518
中国・四国	270	133	49.3%	65	62	65	58	67	84	27	3.2	2日	232
九州	400	191	47.8%	113	116	117	110	127	115	28	3.8	1日	23
合計	2,249	1,173	52.2%	540	571	622	558	564	740	282	3.3回	有効回答数	1,168
総集計			%	46.0%	48.7%	53.0%	47.6%	48.1%	63.1%	24.0%	平均稽古回数		
			RANK	6	3	2	5	4	1	7			

稽古回数について

- 週平均3.3回 / 有効回答数 1168道場
- 毎日 25道場・週 6日 32道場・5日 117道場
- 九州地区・北海道 東北地区の数値 高。
- 稽古日の曜日別は 土・水・火・金・木・月・日の順。

2018(H30) アンケート

通常の稽古、大会参加、審査会以外の活動について

地区	加盟数	2018アンケート		課外活動(複数回答 有)							
	2018/8/27	回答	%	懇親会	卒業	館内大会	合宿	季節行事	地域貢献	学習	その他
北海道・東北	441	215	48.8%	169	169	111	94	98	69	16	20
関東・東京	621	345	55.6%	258	200	228	197	166	97	30	39
中部	294	144	49.0%	104	99	75	72	71	38	11	17
近畿	223	145	65.0%	107	106	96	89	62	45	8	10
中国・四国	270	133	49.3%	105	110	76	56	71	57	5	15
九州	400	191	47.8%	168	154	91	73	73	69	16	22
合計	2,249	1,173	52.2%	911	838	677	581	541	375	86	123
総集計		回答率		77.7%	71.4%	57.7%	49.5%	46.1%	32.0%	7.3%	
		RANK		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	
		課外活動		保護者との懇親会 新年会・忘年会	卒業会	道場内大会 の開催	合宿	クリスマス等 季節の行事	地域への貢献 活動 掃除等ボランティア	学習の面倒 宿題、学習	その他

- ※ 保護者との懇親会:最多(77.8%)
- ※ 道場内大会:57% 親子大会の開催等
- ※ 合宿:49.5%
- ※ その他 バーベキュー・ボーリング大会等のレクレーション等。

2018(H30) アンケート

課題や懸案事項について

地区	加盟数	2018アンケート		課題 / 懸案事項											
	2018/8/27	回答	%	道場生減少	募集活動	指導者不足	後継者問題	指導者高齢化	稽古場所確保	駐車場確保	道場の保守	保護者関係	HP作成ノウハウ	近隣関係	その他
北海道・東北	441	215	48.8%	183	94	58	52	43	25	9	15	22	13	6	3
関東・東京	621	345	55.6%	260	174	97	61	85	43	40	35	22	28	43	6
中部	294	144	49.0%	106	62	34	37	26	12	9	7	11	12	5	2
近畿	223	145	65.0%	115	76	45	37	30	27	19	6	15	11	5	1
中国・四国	270	133	49.3%	103	52	42	40	29	9	5	11	9	7	5	0
九州	400	191	47.8%	139	84	40	32	31	14	10	15	9	11	8	4
合計	2,249	1,173	52.2%	906	542	316	259	244	130	92	89	88	82	72	16
総集計		回答率		77.2%	46.2%	26.9%	22.1%	20.8%	11.1%	7.8%	7.6%	7.5%	7.0%	6.1%	1.4%
		RANK		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	

※ 1位:道場生の減少77.2% ・2位:募集活動について46.2% ・3位:指導者不足26.9%
 4位:後継者問題22.1% ・5位:指導者の高齢化20.8% ・6位:稽古場所の確保11.1%
 7位駐車場の確保7.8% ・8位:道場の保守7.6% ・9位:保護者関係7.5%

※ その他のコメント

※ 熱中症対策

※ 近隣道場との団員の争奪戦

※ 稽古時間が早いため、指導者が間に合わない

※ 役員のなり手がいない

※ 父母の転勤等による児童数の変動が大きい

※ 送迎バスの運転手の確保

※ 剣道具の確保

※ 春休みの稽古場確保

※ 固定資産税の負担・経営上の問題

※ 体育協会との関係及び予算

※ 子供達の体力の低下

※ 特性のある子供への指導

※ ネット上での中傷

2018(H30) アンケート
募集活動 効果について

地区	募集活動について（複数回答有）							
	募集の 効果	クチ込み	ポスター掲示	ホームページ	ビラ配り	体験会開催	電話帳掲載	その他
北海道・東北	効果あり/まあまあ有	150	128	61	75	75	5	14
	効果なし	6	21	17	23	17	34	
関東・東京	効果あり/まあまあ有	254	176	190	120	121	19	23
	効果なし	6	60	19	55	25	62	
中部	効果あり/まあまあ有	94	57	53	44	34	3	8
	効果なし	6	31	11	26	16	20	
近畿	効果あり/まあまあ有	97	75	77	67	64	3	10
	効果なし	3	28	6	22	12	32	
中国・四国	効果あり/まあまあ有	99	67	36	66	45	2	9
	効果なし	0	21	15	16	12	24	
九州	効果あり/まあまあ有	124	93	33	58	45	6	13
	効果なし	8	27	17	22	13	23	
回答合計		847	784	535	594	479	233	77
総集計	効果あり・ まあまあ有	818	596	450	430	384	38	
		96.6%	76.0%	84.1%	72.4%	80.2%	16.3%	
	効果なし	29	188	85	164	95	195	
		3.4%	24.0%	15.9%	27.6%	19.8%	83.7%	
	効果あり順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	

※ 効果あり・まあまあ有と回答

1位:クチコミ	・2位:ポスター掲示	・3位:ホームページ等
4位:ビラ配り	・5位:体験会の開催	・6位:電話帳掲載

※ 他コメント SNS 活用 ・紹介/勧誘
新聞折込み ・広報誌活用 学校掲示板 等

2018(H30) 調査外集計 / 月謝

地区	加盟数	2018アンケート		月謝について														
	2018/8/27	回答	%	平均/ 円	空白		無 (0円)		1～1000円		～2000円		～3000円		～5000円		5001円～	
北海道・東北	441	215	48.8%	2,190 円	40	3.4%	35	3.0%	41	3.5%	54	4.6%	25	2.1%	17	1.4%	3	0.3%
関東・東京	621	345	55.6%	2,378 円	44	3.8%	32	2.7%	53	4.5%	106	9.0%	61	5.2%	41	3.5%	8	0.7%
中部	294	144	49.0%	2,153 円	16	1.4%	12	1.0%	30	2.6%	47	4.0%	23	2.0%	15	1.3%	1	0.1%
近畿	223	145	65.0%	2,213 円	21	1.8%	4	0.3%	18	1.5%	48	4.1%	41	3.5%	13	1.1%	0	0.0%
中国・四国	270	133	49.3%	1,928 円	18	1.5%	5	0.4%	28	2.4%	58	4.9%	18	1.5%	5	0.4%	1	0.1%
九州	400	191	47.8%	2,323 円	44	3.8%	21	1.8%	20	1.7%	58	4.9%	36	3.1%	11	0.9%	1	0.1%
合計	2,249	1,173	52.2%		183	15.6%	109	9.3%	190	16.2%	371	31.6%	204	17.4%	102	8.7%	14	1.2%
総集計				2,229円	RANK		4位		3位		1位		2位		5位		6位	

● 月謝については今回、調査項目に無かったため、全道連のデータベースより抽出集計した。

※ 抽出集計にあたり

◎ 今回のアンケート回答道場のデータを対象とした。

◎ 全道連 加盟時 及び「全道連検索サイト」掲載時に回答記入された、いずれか直近のデータを抽出した。

◎ データベースの「月謝」欄には、

年/〇〇〇〇円等がある為、大雑把に月換算に修正し集計した。【例：年/10000円⇒月840円等】

又、「月謝無し、但し後援会費〇〇〇円」等は今回【無】とカウント。兄弟割引等は考慮していない。

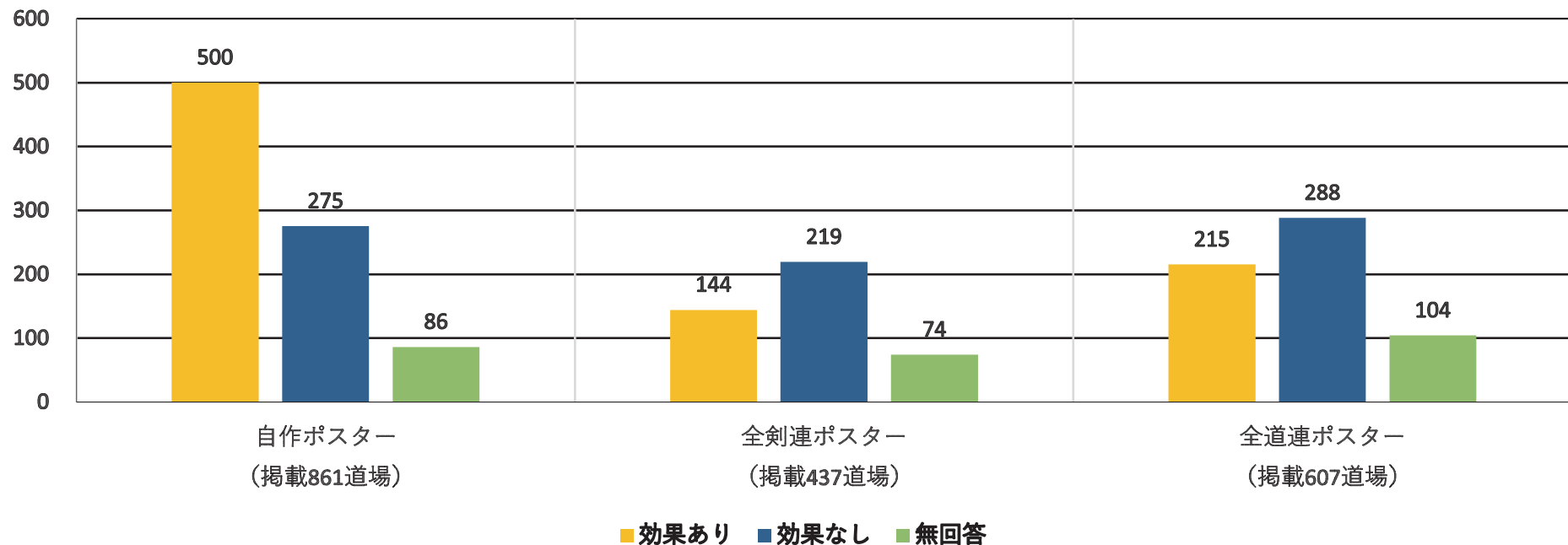
小学生と中学生の金額が違う場合はその中間値で集計。

※ 2000円: 222道場 / 1000円: 136道場 / 3000円: 139道場

2018(H30)アンケート

ポスター 回答合計		効果あり		効果なし		無回答		掲載	種類
1,173	自作ポスター (掲載861道場)	500	58.1%	275	31.9%	86	10.0%	861	自作
	全剣連ポスター (掲載437道場)	144	33.0%	219	50.1%	74	16.9%	437	全剣連
	全道連ポスター (掲載607道場)	215	35.4%	288	47.4%	104	17.1%	607	道連

少年剣道普及ポスター掲載・効果状況



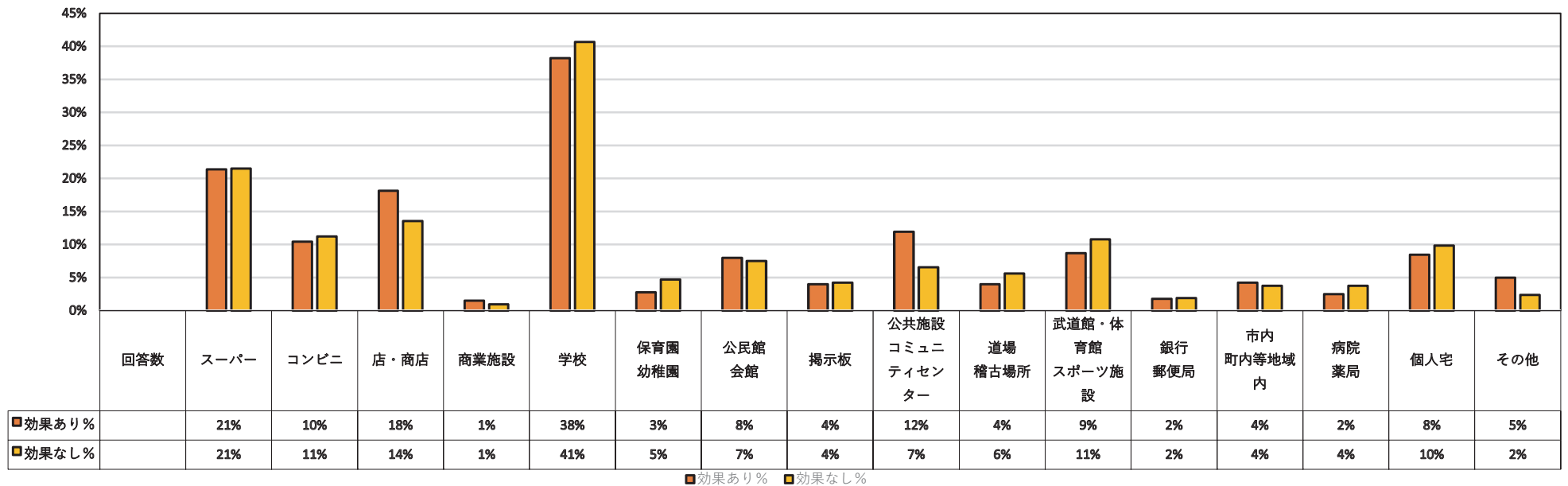
2018(H30)アンケート

自作ポスターについて

	回答数	スーパー	コンビニ	店・商店	商業施設	学校	保育園 幼稚園	公民館 会館	掲示板	公共施設 コミュニティ センター	道場 稽古場所	武道館・体 育館 スポーツ施設	銀行 郵便局	市内 町内等 地域内	病院 薬局	個人宅	その他
自作ポスター 効果あり	403	86	42	73	6	154	11	32	16	48	16	35	7	17	10	34	20
効果あり%		21%	10%	18%	1%	38%	3%	8%	4%	12%	4%	9%	2%	4%	2%	8%	5%
自作ポスター 効果なし	214	46	24	29	2	87	10	16	9	14	12	23	4	8	8	21	5
効果なし%		21%	11%	14%	1%	41%	5%	7%	4%	7%	6%	11%	2%	4%	4%	10%	2%
合計	617	132	66	102	8	241	21	48	25	62	28	58	11	25	18	55	25

※複数回答可

自作ポスター効果の有無別、掲示場所の割合（複数回答可）



2018(H30) アンケート コメント集(抜粋)

要望・コメント他 抜粋

野球、サッカーのように有名な剣士を募集活動に生かせないか。

武道で剣道を取り入れている学校が少ない。PRできないものか。

テレビやマスコミへの広報活動をもっとやるべき。

当地区の小学生は一学年30人～40人。募集が困難な状況。良い案がないものか。

テレビでの剣道の放送、アニメ(ムサシの剣)など放送できないものか。他の競技とのアピール度にかなり差がある。

テレビなどでマンガ的番組があると興味を持つ子が増えるのではないか。

剣道経験者のタレントによるテレビ等での宣伝・普及・啓発をしてほしい。地元の祭りやイベントで演武をしている。高齢者には受けが良い。

募集活動の支援。例えばTVを通しての広報と啓蒙活動。

剣道漫画・剣道アニメ等をTVで流すべし。

全国大会、道場対抗、小中選手権大会、作文や書道展等道場連盟にふさわしい活動と思います。全国大会は少年剣士の憧れの大会です。TV宣伝すべきと思います。最近ではTVの時代劇放映もなくなり、マンガもありません。カッコイイとか憧れで入会する人も多いかと思います。全国に道場から資金カンパし六三四の剣等のTV放映をすべきです。

テレビ、新聞等マスメディア最大限活用(例えばアニメ番組の放映等)全国ベースで剣道の認知度や効果度UP作戦を全国・地方一体となって展開していただきたい。

テレビ、新聞などで、剣道を見せる機会を増やしていただきたい。アイドルが剣道をしている姿を出す等、メディアを活用する。

全日本選手権、国民体育大会、インターハイ以外の全国大会のTV放映をもっと検討ください。

全道連のテレビCMが放映されれば剣道人口増につながるのではないか。

少年剣士を増やすための方策を示して欲しい。広報活動などにももっと力を注いで欲しい。メディアへの露出も検討してもらいたい。

剣道の普及へのサポート。大きな組織でしかできないことをやって欲しい。とくにTV、新聞などのメディアへの働きかけ。『六三四の剣』『俺は鉄平』等続く仕掛け。

有名選手の講話会、指導者会。本部主催の開催を期待する。

募集活動をしているが新規生がゼロである。何か良いアイデアがないものか。

道場生の減少。口コミ作戦で行動しているが結果はまだ出ていない。何か良い方策はないか。

子供がいません。道連の会費も自分で7年間払ってます。

少子化対策が急務。全国ブロック別による剣士の合同錬磨会を実施希望。

中学に剣道部がない学校が多いため他のクラブ活動を始めると剣道から離れていく生徒が多くなる。

現在、少年少女の会員なし。希望者は市内2つの警察道場への入会を勧めている。

道場生の減少対策を知りたい。

2018(H30) アンケート コメント集(抜粋)

要望・コメント他 抜粋

道場生の減少。募集活動が一番の課題。

後継者・指導者・道場の老朽化等いつまで続けられるか不安。

個人道場の為、経営運営上大変難しく苦労している。何かいい案はないものか。

2020東京オリンピックの開会式で豆剣士が日本の武道を披露できたら素晴らしいと夢を見ていました。小さい子が一瞬でもテレビで剣道を見て、カッコイイからと入門してくれると嬉しいです。

昼間空いてる道場は放課後の子供たちを受け入れ学童保育として活用することで、子供たちは安全安心の居場所を確保でき武道への理解が深まり、剣道人口も増えると思う。

会員の減少。子供が入ってこないことが深刻な悩み。メディアでも取り上げてもらう等働きかけて欲しい。

道場生の募集活動で効果が得られた取り組みを具体的に示して欲しい。

道場生を増やす方策（含む失敗談）を、会報に定期的に掲載して頂きたい。何か良いヒントが得られる感じがします。

道場生の減少。剣道の良さをアピールしていただきたい。

少年剣道減少に剣道愛好家及び指導者として危機感を覚えるとともに、人口増加へ何かしらの方策を見出すことに苦慮している。全道連、全剣連等組織的に取り組まれることに期待する。

剣道に励む子供達が少なくなり、チームが作れず試合に出られないことも増えてきた。他の道場と合同で試合に出られる大会もあるが、中学校など、そうでない大会も多い。とても残念である。

少子化に伴い、部員の減少に歯止めがかからない状況になってきている。

町剣道連盟から指導者を派遣し、また経験者である保護者も一緒に、町内3ヶ所で稽古を行っています。

小規模の剣道教室だが、“継続は力なり”を指導方針として取り組んでいる。課題は道場生の減少化。

少子化による門下生不足は深刻。もう少し子供受けできる企画を作って欲しい。

道場生増加に効果のあった活動または方法があれば紹介いただきたい。

良い情報、事柄があれば具体的に紹介して欲しい。

日本中の剣道教室一覧があって、ホームページ、ブログにリンクできるページがあれば交流しやすいと思う。

携帯電話で簡単に見ることができる剣道のPR動画があれば道場生募集の際に役立つと思う。

ネットで簡単に地元の道場がヒットできる工夫を希望します。

会員減少がきびしい課題になっている。全国レベルでの啓発活動も積極的に取り組んでいただきたいと期待します。

少子化の進展、他のスポーツ（例：野球・サッカーなど）との競合によって入門者が次第に少なくなっている。学校・地域などへの働きかけを積極的に行って欲しい。

剣道に対して興味関心が持たれる時代になって欲しい。

体育館、公民館などを使用している道場が多数派になると私設道場は今後も苦しい。

2018(H30) アンケート コメント集(抜粋)

要望・コメント他 抜粋

私設道場では道場の保守メンテナンス等の維持管理が大変である。

道場運営について、法人化取得等の指針があればご教示いただきたい。
なお、加盟団体の中であれば（掌握されている道場があれば）照会したい。

避難生活で地域が変わり会員募集に苦慮している。ポスターや口コミで会員募集をしています。

剣道人口減少の為、剣道のPRに力を入れてほしい。ポスター配布だけでは増員が難しいので全国組織で検討して欲しい。

道連のポスターについて、もう少し小学生や幼児が楽しめるような物を作成してはどうか。

ポスターは利用しています。シールやマスコットが有ると良い。指導者バッジ等が有れば良い。

インパクト（子供の剣道姿等）の有るポスターの作成・配布していただきたい。

ポスターについて、剣道家目線ではなく若いお母さん等が剣道に期待するもの、親目線の工夫したデザインを希望します。

ポスター配布数を増やしていただきたい。

道連のポスターは評判がよく効果もあると思いますので、今後もポスターの配布をお願いします。

マンガやイラストを使ったポスターを作成してほしい。例 赤胴鈴之助、六三四の剣等

キムタクや東出昌大等有名人を使ってポスター制作。

毎年のポスター配布をお願いします。

若者募集のポスターの作成をお願いしたい。

全道連のポスターは大変美しいが、剣道を強調する文字や道場の情報を書き込む場所が欲しい。

全国大会の日程が公立小・中学校の夏休み前になっており、可能ならば8月中に行っていただきたい。

本年度、日本武道館での座席指定は大変ありがたく、助かった。

全道連の大会は道場ごとに席が指定されており感謝している。

全国大会での駐車場の抽選券については、来年も実施して欲しい。

出場枠もう少し増やして欲しい。

全国大会への参加チーム数が制限され、出場チームが限られてしまう。

全国大会への出場数を4の倍数など割り切れる数に調整して欲しい。出場チーム決定戦で費やす多くのムダを省きたい。

地方の子供たちと試合をする機会が多くないので、全国大会の試合形式のリーグ戦を検討願いたい。

審判員派遣に苦慮している。

遠方から大会に行くと朝早くなり、低学年は参加を拒んでしまう傾向がある。仕方ないが、安価な宿泊先などがあると嬉しい。

小学低学年（4年以下）の切り返し及び打ち込み稽古（40秒程度）等の試合（全国大会5人1チーム・3審・判定）を行ってはどうか。都道府県代表1チームによる大会。（7月大会と同時に）

2018(H30) アンケート コメント集(抜粋)

要望・コメント他 抜粋

全国大会が子供達の良い目標となり、努力の大切さ、積み重ね等々勉強させていただいております。引き続き、ご指導の程よろしく申し上げます。

全国大会の会場は日本武道館で毎年開催して欲しい。

判定制の撤廃をご検討いただきたい。

全国大会（個人戦）判定ではなく勝負の決するまでして欲しい。

全国登録しているが、出場できる大会が少ない。

剣道を始める子供たちへの剣道具の提供サポート支援をいただきたい。

幼少年の指導の簡単なマニュアルを作って欲しい。

年会費と出場会費負担どちらか一方でよいのではないか。

各道場の懸案事項や活動・募集の成功例の共有。

女子だけの合同合宿や合同稽古会の開催。（栄養面や心身の事も含め）

地区大会の復活。（関東地区大会等）

調査結果を参考まで知らせて欲しい。

勝負にこだわりすぎて、左手を上げて間合いを詰める試合を見て、少し違う気がしている。左手、中心の、剣先の攻め合いを教えるべき。

全剣連及び全国各都道府県連盟の中に全道連の活動をあまり許可されない空気があるように感じます。剣道界の底辺を支える道連の活動の理解、促進を要望します。

将来の剣道界を展望した場合、少年剣士の減少に対して各道場連盟は危機感を抱いているが、各剣道連盟は抱いていない。自分の剣道だけを考えている理事（上の役員）が多く、将来の剣道界については無知な方が多い。もっと道場連盟がイニシアチブを取ってアピールを。

剣道の良さ（剣道の理念に基づきその最終目的が広く人類の平和・繁栄に寄与せんとするもの）をもっと連盟を中心に大々的に広報すべきである。

会員活動状況に関するアンケート調査結果報告

全日本剣道道場連盟
専務理事 豊村東盛

全道連では少年剣道普及発展の諸施策の一環として、平成 30 年 8 月から同 9 月にかけて、2,249 加盟道場を対象にアンケート調査を実施した。回答数は 1,173 道場（52.2%）であった。この回答をもとに加盟道場全体の人口や活動状況を割り出した。

1、門下生数について

結果を見ると少年剣道全盛期と言える昭和 56 年は中学生以下の推定門下生数は 164,693 名であり、平成 30 年には 54,175 名と約 3 分の 1 に減少している。国内における 15 歳未満の人口は昭和 55 年に 2751 万人、平成 30 年は 1550 万人と約 56%まで減っているが、この深刻な少子化問題と比較しても少年剣道人口は落ち込んでいると言える。

しかし男女比は昭和 56 年に女子が約 15%であったものが、平成 30 年には約 30%と約 2 倍に増加した。少年剣士の減少を補っているものは正に女子剣士の隆盛と言えることは特筆事項である。

また、平成 12 年より高校生以上の門下生数を調査した結果、全体として年々若干の増加傾向にある。これはかつて剣道全盛期に道場に通った剣士たちが成人後も剣道を続けているとも考えられるが、少年少女剣士のみならず剣道界の発展のためには、女子剣道そして高校生以上の一般、高齢者への普及活動及び指導者としての育成にも力を注ぐ必要性を感じる。

2、課題・懸案事項について

各道場における少年剣道指導の課題や懸案事項については、1 位が門下生の減少であり、回答率は 77%にも上った。減少の要因として先に述べた少子化問題に加え、他のスポーツや習い事との競合、経済的な負担等が考えられる。

少年剣士人口の全体数を底上げする努力は取り組むべき重要な問題であるが、各団体における門下生確保には剣道を身近に感じ興味を持ってもらう工夫を凝らすこと、そして入門した子供を継続させる、辞めないようにする努力が合わせて肝要であると強く感じる。このことについては、各支部や各道場で大会や指導法を工夫されているところも多く、以前に比べて剣道を途中でやめる子供は少なくなっているのではないかと推察する。また、中学の武道必修化、きめ細かで丁寧な指導、幼児からの入門、低学年からの試合なども子供たちが継続的に剣道をする後押しになっていると考える。

次いで 2 位が募集活動に関する問題、3 位に指導者不足、4 位後継者問題、5 位指導者の高齢化、6 位稽古場所の確保と続いている。門下生の減少は先に述べた如くであり、それに付随して募集活動問題があると考えられる。

3 位となった指導者不足等の懸念について、少年剣道指導に携われる成人指導者が各道場に複数居る回答が出ているものの、仕事の都合で少年指導の時間に間に合わないという問題も挙がった。早い時間帯の指導は比較的融通の利くリタイア後の指導者に依拠することが想像できる。このことが、後継者問題、指導者の高齢化問題等に繋がる一因でもあると推察する。

また、殆どの道場・団体はボランティアに近い活動であるのにも関わらず、指導者の減少により一人に掛かる指導上の責任は重くなってきている。近年、若い人達の社会的な生活環境も激変してきており、昔

からの剣道指導者との相違点が生じていることも考えられる。

3、門下生募集活動について

門下生減少を補う募集活動について、各道場、工夫努力されている。最も高い成果があったものは昔ながらの口コミで、回答数 847 のうち 96.6%もの道場が効果ありとの回答だった。2 位にポスター掲示（とくに自作のポスターが効果あり）、3 位にホームページとなっている。また、回答数 479 で実施数は 5 位だが、体験会の開催は有効との回答が 80.2%であり、高い成果を得ていることには注目したい。

また現代の保護者はホームページで検索し道場を訪問するケースが増えている。ホームページは初期の立ち上げ、継続的な更新に苦労するケースが多いが、最新の情報で道場の様子をアピールできること、一度掲載すれば閲覧者が望む時に情報を得られることから、団体の看板に代わるものとして有効である。現在は無料で容易にウェブページを作成できるツールや利用できる若者も増えてきており、今後、ホームページの充実化が益々必要と感じる。

いずれにしても、少年剣道人口の増加には個々の団体そして剣道の良さをいかに身近なものとして対外にアピールできるかが肝要である。尚、募集方法だけでなく各道場における課外活動実施状況なども参考にされたい。

4、今後の展望について

来年の東京オリンピックにおいて新種目として採用された競技も多く、これまで野球やサッカーが主な競合相手であったが空手・卓球・バドミントン等も人気を博している。競合の益々の厳しさを感じる中、日本の伝統武道として剣道の質の向上を念頭に置くことが、剣道普及発展の根幹であると思っている。現在、世界の剣道人口は増加傾向にあり、武道精神を含めた剣道に魅力を感じる外国人の剣道愛好家が多

く存在する。私たちが技術的、精神的に質の高い剣道を目指すことで剣道の世界的認知度がさらに高まると同時に、結果として国内における剣道にもその良さが還元されることと思う。剣道人口増加の得策は簡単には見つからない問題であり、長期的に将来を見据え、剣道自体の価値を高め、その良さを伝承していくことが大事ではないだろうか。

5. その他 反倫理的行為等について

剣道に限らず、他スポーツ団体においても近年頻繁に反倫理的行為（暴力・各ハラスメント・差別・禁止薬物使用等）が取沙汰されている。平成 30 年に全剣連が、倫理に関するガイドラインを制定し、各団体に通達した。道場連盟では幼少年剣道普及発展を主眼としており、特に試合に負けた子供に対しての指導者や関係者の暴力行為はマイナスイメージそのものである。当然指導の段階でもこのような行為は許されることなく、剣道の普及にも大いに影響を与える。指導方針は各道場それぞれと思うが、「褒めて鍛える」ことで、子供たちが生き活きと剣道を続けてくれると思っている。

以上のようなことをふまえ、当連盟としても今後の対応を考えていくとともに、各道場に携わる各位の協力を心より願うところである。大きな項目に絞って実施した今回のアンケートだが、問題点、活用点や多くの有益な情報を得られた結果となった。また各道場においても活用して頂けるヒントがあるものと期待する。この調査結果を高覧の上、引き続き当連盟宛てにご意見、ご提案などを頂きたくお願いしたい。

アンケート調査にご協力頂いた会員諸氏に衷心よりお礼申し上げ、拙い調査報告とする。

